

建学の精神・教育理念・3つのポリシー

建学の精神

地域を支える次世代を社会に送り出す

学校法人大橋学園は、学園のはじまりである

昭和14年に開設したツルー洋裁学院の建学の精神

「地域の女性の社会的自立のための職業専門教育」を継承し、

その後の設置学科の広がりを受け、

現在、「地域を支える次世代を社会に送り出す」ことを建学の精神として掲げています。

教育理念

豊かな人間性と確かな技術

HUMANITEC(ユマニテク)

HUMAN & TECHNOLOGY = HUMANITEC
(人) (技術) (ユマニテク)

専門技術の習得はもちろん、思いやりの気持ちや、

人と人とのコミュニケーションの大切さを学ぶことを重視することで、

ひとりひとりの豊かな個性を最大限に引き出し、地域社会で貢献できる人材育成すること、

すなわち、「豊かな人間性と確かな技術」の習得を教育理念とし、

「ユマニテク」という言葉を使用しています。

「ユマニテク」という言葉は、「人」そのものに本来的に備わっている優しさや

思いやりの気持ちを養い育てることへの願いを込めた Human という言葉と、

専門的な知識やスキルの習得をもって身につける技能によって実現する業

「技術」Technology という言葉をあわせ、「人(心)」と「技術(技)」というワードから、

これをフランス語読みしてつくった造語です。

「豊かな人間性」とは、精神的、文化的側面と物質的、経済的側面のバランスがとれた精神の成長と
他者理解、共助・共栄の精神を育てること、

「確かな技術」とは、専門的な知識やスキルを身につけるとい技能によって実現する術だけでなく、
共助・共栄を存在の基盤としている人間(Human)の心が通った技術(Technology)のこと、

そのどちらも欠けること無くあわせ持つ

—「人」の心が通った「技術」を身につけた専門職業人—

を育み、地域を支える次世代として社会へ送り出すことを指し示す

「豊かな人間性と確かな技術— HUMANITEC(ユマニテク)—」

を教育理念としています。

アドミッションポリシー

アドミッションポリシーとは？

学校の教育理念・方針、それに基づく人物像、入学試験の評価・選考基準を明確にし、あらかじめ入学者に伝達し、相互理解による入学試験を行うための基本軸となるもの。

ユマニテクの求める人物像

専門技術と知識を学び、社会性を身につけていきたいと考える人。

「豊かな人間性」「確かな技術」を身につけるための基礎として、意欲や適性、将来の目標等を重視します。

これらを捉えるために、選考における評価基準の主なものを以下にあげます。

- ① 本校の教育方針や教育内容を理解し、本校で学びたい気持ちがあるか。
- ② 希望学科に関係する職業を理解し、入学目的・身につけたいことが明確であるか。
- ③ 目的達成のために、粘り強く努力し、やり遂げる気持ちがあるか。
- ④ 卒業後の進路、将来について考えているか。

カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシーとは？

ディプロマポリシー達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果を評価するのかを定める基本的な方針。

ユマニテクの定める教育課程

製菓衛生師法施行規則、調理師法施行規則に基づき、体系的に学修できるよう講義、実習科目を配置する。調理師専科、製菓製パン本科は「職業実践専門課程」の認定を受けており職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として、企業等と連携し、実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行う。

授業計画書（シラバス）については、授業概要、授業終了時の到達目標、毎回の授業テーマなどを記載しており、入学年度に学生に配付し、積極的に活用するように指示している。なお、公表・更新については、原則として毎年度5月に行う。

ディプロマポリシー

ディプロマポリシーとは？

本校の教育理念に基づき、どのような力を身につけた者に卒業を認めるのか定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標となるもの。

ユマニテクの定める学修目標

カリキュラムポリシーに沿って設定した全ての科目を修得し、

学則及び卒業判定規程にある下記の卒業要件を満たした者に専門士の称号を授与する。

- 製菓、調理業務を行うにふさわしい知識、技術及び人格を備えていること。
- 本校の定める全ての授業科目、及び実習の出席率を満たしていること。
- 授業料等学納金が完納されていること。
- 成績評価が認定要件を満たしていること。